

水道外資・フツ化!!

マスコミは嘘しかつかない!!

郵便に続いて水道も外資化!
 自民党・小泉政権の時に民営化した郵便局、しかしその実態は外資化で、結局、日本国民がため込んできた郵便貯金360兆円は、アメリカ保険業界の最大手「アフラック」に流れています。

政治評論家の森田実さんは、複数のルートから、米国の巨大広告企業が、広告代理店『電通』に5千億円もの巨額の宣伝費を継ぎ込み、「郵政民営化は善である」と、世論誘導を行っているという「情報」を入手しました。そして森田さんは、「郵政民営化」を食い止めるために、『電通』に対する批判を行いました。すると彼はテレビ・マスコミから干されてしまいました。

そして郵便に続いて水道まで外資化しようとしています。水道料金は銀行引き落としにしている人が多いために、気がついていない日本人が大半ですが、実のところフランスの『ヴェオリア社』が、すでに水道料金を全国的に徴収しています。



11月11日
日曜日

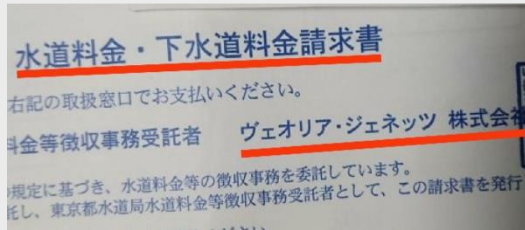
オモテ

号外④

おもしろき

こどもなき世を おもしろく

ついに水道が外資化、そして猛毒が!



そしてオウムの「麻原彰晃」と松本智津夫死刑囚らが死刑執行され、日本国中の目がそのニュースに向いている背後で、7月5日、衆議院本会議において、「水道法改正案」の採決が、賛成多数で可決されて、水道民営化ならぬ水道外資化が本格的に動き出したのです。

そしておそらくは水道水の中に、「フツ素」が入れられます。ぜひ一度、『水道水フツ化物添加』とお調べください。アメリカをはじめ世界中の国々において、すでに水道水に「フツ素」が入れられており、2007年の時点で、アメリカ国民の66パーセントが、「フツ素入りの水道水」を使用しているのです。

かつて南米ボリビアでは、外資の『ベクトル社』が水道利権を購入したことで、水道料金が4倍以上に跳ね上がり、死者を出し、暴動となる異常事態となりました。

2013年4月、自民党の麻生太郎副首相は、ワシントンの『CSIS(米戦略国際問題研究所)』において、「日本の水道は、すべて民営化します」と発言していましたが、まさにその言葉通りになったのです。

しかし「フツ素」は猛毒であり、「フツ素」やあるいはフツ素の化合物である「フツ化物」には、脳の「松果体(しよつかたい)」というところを石灰化させると云われています。アメリカの科学者ジェイコブ・リーバーマン博士によれば、「松果体」は人間の機能のすべての側面において、主要な役割を果たしており、もしもここが石灰化すると認知症・アルツハイマーになるそうです。ちなみに人類の歴史上、「フツ素」を初めて水道水に導入したのはナチスです。



11月11日
日曜日

ウラ

号外④

武士とは死ぬことと見つけたり

山本常朝

歯の専門家はフッ素の専門家ではない！

日本政府はナチスか！？

ナチスが水道に「フッ素」を入れた目的、それはユダヤ人たちが強制収容所から脱走しないように、その意思をくじいてしまふことでした。

「フッ素」は、日本の『厚生労働省』も猛毒として認めており、殺鼠剤(さつそざい)の主原料でもあり、大気汚染の化学物質の中でも最も危険です。メリカ農務省でさえも、「フッ素は世界中の動物に害を与えてきたもの」としています。にも関わらず、すでに述べましたように、アメリカの人々の66パーセントが、「フッ素は歯の健康に良い」と信じて、「フッ素入り水道水」を使用しているのです。

下げられていく意思とIQ

神経毒学者のフィリス・マレニクス博士は、「フッ素」の毒性解析を依頼されましたが、しかし博士は「フッ素は子供たちの歯磨きでも使用されているほど、安全な物質だから時間の無駄」と拒絶しました。

しかし博士が依頼通りに検査してみると、驚くべき結果が出たのです。なんと歯磨きなどに使用されている、安全とされている適量の「フッ素」を投与しただけでも、

神経細胞から他の神経毒が引き起こすような多動性障害、記憶障害、知能障害が確認されたのです。

そしてマレニクス博士が、この驚くべき事実を学会で発表すると、ある人物はこう言ったそうです。「君は自分が何を言っているのかわかっているのかね？われわれが子供達のIQを下げているとでもいうのか！」、この言葉に対して博士は「はい。基本的にはそうです」と答えました。するとその後、即座にマレニクス博士は、研究所を解雇され、研究の資金も絶たれ、研究は打ち切られたのです。

日本の水道水に「フッ素」が入られる目的は、私たち日本国民を「金融植民地」という檻に閉じ込めて、そしてここから脱出する意思を奪うためです。

最も洗脳された歯科医たち！？

しかし歯科医の大半が、「フッ素」で歯を磨くことを推奨しているのです。

なぜか？それは科学、化学、医学がそれぞれ発達し過ぎて、細分化が進んでいるからです。つまり科学に詳しくとも化学には疎い、化学には詳しくとも医学には疎い、そんなことは当たり前のことだからです。歯科医はあくまでも「歯の専門家」であって、「神経毒」や「脳」の専門家ではないために、「フッ素」が人体、特に脳に及ぼす害悪について知らないわけです。

もっと詳しく知りたい方は



『金融詐欺のカラクリ』

～実はアナタも被害者～

